

手指衛生のタイミングについて

手指衛生って何ですか？

手指衛生は、医療・介護の現場において手の清潔を維持する行為です。標準予防策で実施する項目のトップに来るほどの基本的かつ重要な対策です。



手指衛生の目的は？

人の皮膚の表面には常在菌と通過菌の2種類の菌が存在します。常在菌は、皮膚のしわの奥深くにいて健康を維持するために重要な役割を持つ菌です。通過菌は、外部から人体に付着する菌です。皮膚の表面や爪に存在し、病原菌を含んでいる可能性があります。手指衛生はこの通過菌を除去して、**感染のリスクを減少するため**に行います。

手指衛生はいつやるの？

手指衛生は下記の**5つのタイミングで実施**することで、感染対策の効果を発揮します。

タイミング	実施する理由	具体例
患者に触れる前	患者には常に清潔な手で対応しましょう。	診療の案内・誘導時
清潔/無菌操作の前	個人防護具の着用前に実施して安全に処置を行いましょう。	注射・採血の前
体液曝露リスクの後	使った後の個人防護具の表面は汚染されています、個人防護具を外した後は手指衛生を行いましょう。	検尿・検便などの検体を扱った後
患者に触れた後	患者の体液に汚染されている可能性があります。	診療や移乗介助の後
患者の周辺に触れた後	直接患者に触れていなくても、患者の環境は汚染されている可能性があり、そこに触った手は汚染されている可能性があります。	車椅子やシルバーカー等の移動の際の補助具の支持



自分もしくは、誰かから受け取った病源体を渡さない

手の清潔を意識して

患者から病原体をもらわない

